

広域人事だより

<第12号>

(平成30年12月19日発行 北海道教育厅総務政策局教職員課人事企画G)

広域人事で異動された先生方から近況報告をいただいたので、御紹介させていただきます。

現任校	函館市立巴中学校（前任校）奥尻町立奥尻中学校	氏名	村上 紗知子
-----	------------------------	----	--------

○地域・学校の様子

函館市は道内の中でも3番目に入りの多い都市です。しかし、昨今の少子化に伴い、この数年で小中学校の閉校や統合が相次いでいます。函館市のほぼ中央部に位置する本校は、函館市立凌雲中学校、函館市立的場中学校、函館市立光成中学校の3校が統合し、校区の変更により函館市立宇賀の浦中学校の一部も編入され、平成30年4月1日に開校しました。全校生徒は590名、学級数19（特別支援学級2を含む）で、市内でも3番目に大きな規模の中学校となっています。旧4校の長い歴史の中で培っていた伝統を大切にしながら、新たな伝統と歴史の創造に向けて、『自主自律』の校訓のもと、学校生活や部活動が盛んに行われています。

○現任校での勤務状況

【学年】2年F組34名の担任をしています。前任校に比べ学級の生徒数が倍以上に増え、なかなか全員に目が行き届かないことや集団の指導と個の指導のバランスに戸惑うことが多くありました。しかし、経験豊富な先生方に支えられながら、慣れることができました。また、単学級では学ぶことができなかつた学年団の組織的な動きや繋がりの大切さを感じています。

【教科】教科は2年生5学級の保健体育を担当しています。前任校は小規模校のため、単元によっては全校体育にしたり、同じ内容の保健の授業を年に1度しかできなかったりしました。しかし、現任校では、同じ教科の先生から助言をいただきながら、改善を加えて複数授業を行えることで、授業力の向上に繋がっていると思います。また、管内や市内で開催される研究授業や講習会等にも積極的に参加し、自分の授業に活かせるヒントを模索しています。

【分掌】校務分掌は健康部で清掃活動や体育的行事等を主に担当しています。今年度は統合1年目のため、旧4校の良さを引き継ぎながら新しい提案を考えることや、教職員が共通の認識を持って生徒への指導にあたれるように留意しています。

【部活】部活動はバスケットボール部を担当しています。初めて主顧問を任せいただき、改めて技術指導だけではなく、生徒指導や運営面等の大切さを感じています。試行錯誤しながらの活動ですが、専門種目ということもあって、学生時代の経験を活かしながら、楽しく指導にあたることができます。

○生活の状況

市内には、スーパーや飲食店、病院、公共交通機関等、様々な施設が充実しており、生活をする上で不便はありません。休日には買い物や趣味のことをしてリフレッシュすることができます。教員住宅はないので、市内のアパートを借用しています。

○最後に

新しい土地でのスタートは不安もありました。しかし、それ以上に多くの発見や学びがあります。新たな出会いと限られた時間を大切にし、様々なことに挑戦して、多くのことを吸収していきたいと思います。



現任校	八雲町立八雲小学校（渡島）	前；江差町立江差北小学校（檜山）	氏名	鎌倉 範人
-----	---------------	------------------	----	-------

○はじめに

こんにちは。初めまして。檜山管内採用でしたが、広域人事の制度により、渡島管内で勉強させていただいております。転勤前は不安と期待が7:3位でしたが、今は毎日楽しく児童と接しています。そんな私の状況を少しでも知っていただきたいと思います。また、ほかの方々のお便りも楽しみにしています。

○学校の様子



外観（八雲町ホームページより）

全校児童；504名（前任校が70名程度だったのでとても多く感じます！）
学級数；18学級（学年によって3学級と2学級があります）
子どもたちの様子；あいさつが素晴らしいです！朝はどこを歩いてもあいさつが飛んできます。

○地域の様子

八雲町の場所はご存知ですか？右の画像の赤い部分が八雲町です。町のホームページにもありますが、見て分かる通り、「太平洋と日本海、二つの海をもつまち」です。

2030年までに新幹線が通る予定ですが、駅をあえて周りに何もない（牧草地帯、乳牛がいる）ところに作るそうです。自然環境の保護を優先しているとのことです。



八雲町の人口約16000人、牛の数約12000頭！

○私の様子

1年生28名を担任しています。初めての渡島、初めての1年生です。なので気持ちは1年生児童と同じでした。優しい同僚にも恵まれ、冒頭に書いた通り毎日楽しく仕事をしています。

学級づくりはこれまでの経験によるところも大きいですが、檜山では体験できなかった「学年団」がこちらにはあるので、他の先生方に学級のつくり方等を聞くなど、大変多くの部分で参考にさせていただいているです。



現任教	北斗市立上磯中学校（前任校）中頓別町立中頓別中学校	氏名	中根 孝規
-----	---------------------------	----	-------

○地域・学校の様子

北斗市は渡島半島の南部、函館市の隣に位置し、2006年（平成18年）に上磯郡上磯町と亀田郡大野町の新設合併により誕生した市です。人口は約46,000人、世帯数は約18,500世帯。2016年には北海道新幹線も開業し、経済的な発展がめざましい、様々な業種の方たちが暮らす街です。

北斗市には中学校が5校あります。中でも私が勤務している北斗市立上磯中学校は北斗市で一番校区が広く、全校生徒578名で学級数が19（特別支援学級3を含む）の学校です。生徒会が中心となったあいさつ運動や絆プロジェクトなど、生徒同士のつながりを大切にした行事が数多くあります。また、陸上部が全国大会に出場、吹奏楽部が全国大会で金賞を受賞するなど、部活動が盛んな学校です。



○現任教での勤務状況

今年度は赴任1年目で、2年生2クラスの副担任をしています。また、分掌は保健体育部です。前任校は、平均年齢が低い傾向でしたが、上磯中学校はベテランの先生方が多いので、日々、学習指導や生徒指



導の面で勉強させて頂いています。また、今年度より上磯中学校にタブレットPCが導入され、タブレットPC関連の仕事も任されています。元々PCなどのICTを活用した授業に興味があり、学んでみたいと考えておりましたので、このタイミングで赴任することが出来て本当に良かったです。北斗市全体でタブレットPCの活用が推進されており、周辺校で行われるICT活用についての研修にも数多く出席できるのでこの機会にたくさんのこと学び、生徒に還元していきたいと思います。

○生活の状況

周辺にはコンビニやドラッグストアが数多く、少し車を走らせると大型のスーパーなどもあるため生活をする上で不便を感じることは一切ありません。飲食店や医療機関も充実しています。

○その他

今まで経験したことがない規模の学校に勤務することで、戸惑うこともあります。その分多くのことを学ぶことが出来ています。多くの生徒や、保護者の皆様とふれあい勉強させていただくことが出来、広域人事を志願してよかったですと心から実感しています。